

口頭発表 第1日 9月22日(土)

口頭発表1 自己 (36-581) 16:15~17:45

座長 結城 雅樹

- | | | |
|---|---|--|
| 1-1 自尊感情の変動性の指標に関する検討 | 阿部 美帆 | 筑波大学大学院 |
| 1-2 文化的自己観の形成と環境要因
—障害者との相互作用および文化・社会的環境— | 河村 真千子 | 大東文化大学 |
| 1-3 過去の自己評価は現在自己評価維持のためにつくられるのか | ○工藤 恵理子
遠藤 由美 | 東京女子大学
関西大学 |
| 1-4 関係流動性が自尊心の効果に与える影響
—地域間比較アプローチによる検討 | ○佐藤 剛介
結城 雅樹 | 北海道大学大学院
北海道大学大学院 |
| 1-5 関係流動性が自尊心の効果に与える影響(2)
—状況プライミング法による実験的検討 | ○結城 雅樹
佐藤 剛介
竹村 幸祐
Joanna Schug
堀川 裕生 | 北海道大学大学院
北海道大学大学院
北海道大学大学院
北海道大学大学院
北海道大学大学院 |

口頭発表 第1日 9月22日(土)

口頭発表2 偏見・ステレオタイプ (36-582) 16:15~17:45

座長 沼崎 誠

- | | | |
|--|---------------------------|--------------------------------|
| 2-1 異性愛の顕現化が男性のジェンダー関連自己ステレオタイプ化に及ぼす効果 | ○沼崎 誠
高林 久美子
天野 陽一 | 首都大学東京
一橋大学大学院
東京都立大学大学院 |
| 2-2 ワールドカップサッカー・ドイツ大会視聴とIATによる日本人・外国人へのイメージ(1)
—試合前後の潜在的指標(IAT)と顕在的指標の変化— | ○小林 知博
大江 朋子
上瀬 由美子 | 青山学院女子短期大学
東京大学
江戸川大学 |
| 2-3 ワールドカップサッカー・ドイツ大会視聴とIATによる日本人・外国人へのイメージ(2)
—試合前後の潜在的指標の変化量を分析する— | ○大江 朋子
小林 知博
上瀬 由美子 | 東京大学
青山学院女子短期大学
江戸川大学 |
| 2-4 ステレオタイプの使用と正当化がその後の判断に与える影響 | ○竹内 真純
唐沢 かおり | 東京大学大学院
東京大学大学院 |
| 2-5 有能な人ほど冷たいか: 嫉妬的ステレオタイプにおける能力次元の確証が人柄次元の認知に及ぼす影響 | ○清水 敦
村田 光二 | 一橋大学大学院
一橋大学大学院 |

口頭発表 第1日 9月22日(土)

口頭発表3 社会的認知(1) (36-681) 16:15~17:45

座長 五十嵐 祐

- | | |
|---|--|
| 3-1 社会的ネットワークの知覚された実体性 | ○五十嵐 祐 日本学術振興会・大阪大学
Kashima Yoshihisa The University of Melbourne |
| 3-2 成功を求める北米人、失敗を避ける日本人
—制御焦点と情報処理の比較文化研究— | ○釜屋 健吾 北海道大学大学院
浜村 武 University of British Columbia
Steven Heine University of British Columbia
堀 和泉 University of British Columbia |
| 3-3 色彩象徴と思考様式に関連
—日本とカナダの Cross-cultural Research— | ○大下 京子 早稲田大学
齋藤 美穂 早稲田大学
増田 貴彦 University of Alberta |
| 3-4 集団実体性が責任判断に及ぼす影響 | ○日置 孝一 神戸大学大学院
唐沢 穰 名古屋大学大学院 |
| 3-5 個人の社会的関係が外界認知と外界の記憶とに及ぼす影響 | 星津 香織 大谷大学 |

口頭発表 第 1 日 9 月 22 日 (土)

口頭発表 4 集合行動 (36-682) 16:15~17:45

座長 平松 隆円

- | | | |
|--|-------------------------|-------------------------------------|
| 4-1 化粧規範に関する研究 I
—化粧を施す生活場面と化粧意識の関連性— | ○平松 隆円
牛田 好美 | 人間文化研究機構国際日本文化研
究センター
成安造形大学 |
| 4-2 疑似高齢者を含む集団の衝突に関する実験的研究 | 釘原 直樹 | 大阪大学 |
| 4-3 類型論の観点からみたうわさの伝達に影響を与える
要因 | 竹中 一平 | 日本学術振興会・筑波大学大学院 |
| 4-4 オルテガ「大衆の反逆」論についての実証的検討 | ○藤井 聡
羽鳥 剛史
小松 佳弘 | 東京工業大学大学院
東京工業大学大学院
東京工業大学大学院 |

口頭発表 第 2 日 9 月 23 日 (日)

口頭発表 5 自己開示・自己呈示 (36-581) 9:00~10:30

座長 谷口 淳一

- | | | | |
|-----|---------------------------------|---|--------------------------------|
| 5-1 | 自己呈示が友人からの評価に及ぼす影響 | 谷口 淳一 | 大阪国際大学 |
| 5-2 | 親密度の異なる友人に対する自己開示抵抗感についての検討 | ○三上 聡美
山口 裕幸 | 九州大学大学院
九州大学大学院 |
| 5-3 | オープナー・スキル尺度の作成と妥当性検討 | 堀内 孝 | 岡山大学大学院 |
| 5-4 | 社会構造と自己開示：関係流動性の違いに着目して | ○Joanna Schug
結城 雅樹
William W. Maddux | 北海道大学大学院
北海道大学大学院
INSEAD |
| 5-5 | 対人場面におけるデフォルトの自己提示戦略：日米比較研究を通して | ○橋本 博文
山岸 俊男 | 北海道大学大学院
北海道大学大学院 |

口頭発表 第2日 9月23日(日)

口頭発表6 電子ネットワーキング (36-582) 9:00~10:30

座長 山内 みどり

- | | | |
|---|-----------------------------------|---|
| 6-1 SNS(mixi)における自己開示度・類似度が対人的魅力に及ぼす効果 | 山内 みどり | 東京大学 |
| 6-2 CMCでも言いたいことはきちんと伝わるか?(2):
メッセージの伝達における視覚的手がかりの効果 | 杉谷 陽子 | 一橋大学大学院 |
| 6-3 地域接触時間を補う地域オンラインコミュニティの可能性 | ○加藤 健成
小林 哲郎
片岡 千鶴
池田 謙一 | 東京大学大学院
国立情報学研究所
東京大学大学院
東京大学大学院 |
| 6-4 地域オンラインコミュニティの効果的な利用のために一利用における目的意識からの検討一 | ○片岡 千鶴
小林 哲郎
加藤 健成
池田 謙一 | 東京大学大学院
国立情報学研究所
東京大学大学院
東京大学大学院 |
| 6-5 オンラインゲーム利用が社会性および攻撃性に及ぼす影響一世代間での比較を通して一 | ○藤 桂
吉田 富二雄 | 筑波大学
筑波大学 |

口頭発表 第2日 9月23日(日)

口頭発表7 社会的交換(1) (36-681) 9:00~10:30

座長 針原 素子

- | | | | |
|-----|--|-------------------------|-------------------------------|
| 7-1 | 自己呈示戦略と近隣集団離脱戦略の共進化プロセス: エージェント・ベースト・シミュレーションによる検討 | ○針原 素子
朝岡 誠
金澤 悠介 | 東北大学大学院
東北大学大学院
東北大学大学院 |
| 7-2 | 公正-不公正なパニッシュ行動者に対する他者評価の検討 | ○森本 裕子
渡部 幹
楠見 孝 | 京都大学
京都大学
京都大学 |
| 7-3 | 都市部と村落部における信頼生成プロセスの検討 | ○稲垣 佑典
辻 竜平 | 東北大学大学院
明治学院大学 |
| 7-4 | 震災にともなう一般的信頼とネットワークの変化
新潟県中越地震におけるパネル調査より | ○辻 竜平
針原 素子 | 明治学院大学
日本学術振興会 |
| 7-5 | 投資行動への評価に及ぼす意図性と固有性の効果
~固有な他者への利他的投資の規範~ | ○清水 裕士
大坊 郁夫 | 大阪大学・日本学術振興会
大阪大学大学院 |

口頭発表 第 2 日 9 月 23 日 (日)

口頭発表 8 政治意識 (1) (36-682) 9:00~10:30

座長 池田 謙一

- | | | | |
|-----|---|---------------------------|-------------------------------|
| 8-1 | オンラインディスカッションは異なる立場への理解をもたらすか:
集団の同質性・異質性の中での熟考の効果 (1) | ○池田 謙一
小林 哲郎
宮田 加久子 | 東京大学大学院
国立情報学研究所
明治学院大学 |
| 8-2 | オンラインディスカッションは異なる立場への理解をもたらすか:
集団の同質性・異質性の中での熟考の効果 (2) | ○小林 哲郎
宮田 加久子
池田 謙一 | 国立情報学研究所
明治学院大学
東京大学大学院 |
| 8-3 | オンラインディスカッションは異なる立場への理解をもたらすか
集団の同質性・異質性の中での熟考の効果 (3) | ○宮田 加久子
池田 謙一
小林 哲郎 | 明治学院大学
東京大学大学院
国立情報学研究所 |
| 8-4 | 環境配慮事業に対する受容意識モデルの検討
—信頼と手続き的公正を用いたシナリオ実験— | ○尾花 恭介
広瀬 幸雄
久保田 健市 | 名古屋大学
名古屋大学
名古屋市立大学 |
| 8-5 | 信頼の SVS モデル (4): 情報モニタリング法によるアプローチ | 中谷内 一也 | 帝塚山大学 |

口頭発表 第2日 9月23日(日)

口頭発表9 感情 (36-581) 10:45~12:15

座長 澤田 匡人

- | | | |
|---|---|---|
| 9-1 他者の不幸を喜ぶ男、不運を哀れむ女—シャーマン
フロイドと同情の喚起プロセスに性差はあるか?— | ○澤田 匡人
稲垣 順子 | 宇都宮大学
東京学芸大学大学院 |
| 9-2 個人的-対人的状況における後悔: 日米比較研究 | ○小宮 あすか
宮本 百合
渡部 幹
楠見 孝 | 京都大学
ウィスコンシン大学
京都大学
京都大学 |
| 9-3 樹木画の画像解析と心理的解釈の分析 | ○岩満 優美
高崎 いゆき
佐藤 菜生
木之下 みやま
吉田 勝明
竹村 和久 | 北里大学大学院
早稲田大学大学院
早稲田大学大学院
横浜相原病院
横浜相原病院
早稲田大学 |
| 9-4 マインドフルネスによる自己制御が心身の健康とパ
フォーマンスに及ぼす影響
—大学生とアスリートによる検討— | ○及川 昌典
及川 晴
橋本 絵美 | 日本学術振興会
帝京大学・東洋大学
国立スポーツ科学センター |
| 9-5 乳がん確定診断前後の心理的反応について
—特性不安との関係から— | ○平山 賀美
岩満 優美
蔵並 勝
轟 慶子
和田 芽衣
山本 賢司
宮岡 等 | 北里大学大学院
北里大学大学院
北里大学
北里大学
北里大学大学院
北里大学
北里大学 |

口頭発表 第2日 9月23日(日)

口頭発表 10 態度・説得 (36-582) 10:45~12:15

座長 杉浦 淳吉

- | | | | |
|------|-----------------------------------|-----------------|----------------------------|
| 10-1 | 説得納得ゲームによる行動促進・抑制のプロセスデザイン | 杉浦 淳吉 | 愛知教育大学 |
| 10-2 | 食品の消費行動の動機のプロセスとコントロール要因の影響 | ○大友 章司
広瀬 幸雄 | 東北大学
名古屋大学 |
| 10-3 | 現代青年の社会的危機意識の構造 | 丸山 久美子 | 聖学院大学 |
| 10-4 | The Art of Well-being. 一よい人生とは何か一 | ○上出 寛子
大坊 郁夫 | 日本学術振興会・大阪大学大学院
大阪大学大学院 |
| 10-5 | 食品の栄養成分の強調表示が製品評価に及ぼす影響 | 金 文喜 | 上智大学大学院 |

口頭発表 第 2 日 9 月 23 日 (日)

口頭発表 11 社会的交換 (2) (36-681) 10:45~12:15

座長 神 信人

- | | | |
|---|-----------------|------------------------------|
| 11-1 非合理的利他行動と対人感情 | 神 信人 | 淑徳大学 |
| 11-2 一般交換状況における選別的利他行動の検討：強制的プレイパラダイム・選択的プレイパラダイム間の比較 | ○真島 理恵
高橋 伸幸 | 日本学術振興会・北海道大学大学院
北海道大学大学院 |
| 11-3 評判情報の信頼性と戦略
—コンピュータシミュレーション研究— | ○渡部 幹
小宮 あすか | 京都大学大学院
京都大学大学院 |
| 11-4 規範逸脱者への罰は自分への報酬か？ | ○高岸 治人
犬飼 佳吾 | 北海道大学大学院
北海道大学大学院 |

口頭発表 第 2 日 9 月 23 日 (日)

口頭発表 12 政治意識 (2) (36-682) 10:45~12:15

座長 高橋 尚也

- | | | | |
|------|--|----------------------------------|--|
| 12-1 | 行政と住民との協働経験と協働意図に影響を与える要因の検討 | 高橋 尚也 | 筑波大学大学院 |
| 12-2 | 市民は参加を通じて、エンパワーメントを獲得できたのか？ —ドイツ Bayern における Planungszelle 事例調査— | ○前田 洋枝
広瀬 幸雄
杉浦 淳吉
大沼 進 | 東海学園大学
名古屋大学大学院
愛知教育大学
北海道大学大学院 |
| 12-3 | 争点態度の上位構造としての『イデオロギー』の今日的展開 | ○稲増 一憲
池田 謙一 | 東京大学
東京大学 |
| 12-4 | 政策受容に及ぼす公正感の効果
EU における熟議型社会的決定の事例調査 | ○大沼 進
広瀬 幸雄
野波 寛
杉浦 淳吉 | 北海道大学
名古屋大学
関西学院大学
愛知教育大学 |

口頭発表 第 2 日 9 月 23 日 (日)

口頭発表 13 教育 (36-581) 13:15~14:45

座長 出口 拓彦

- | | | |
|---|------------------|--------------|
| 13-1 「学生同士の注意」が私語の発生過程と適応に及ぼす影響—「自己の適応を犠牲にした他者の利得表への介入」という視点から— | 出口 拓彦 | 藤女子大学 |
| 13-2 先延ばし過程における意識の変化の検討 | 小浜 駿 | 筑波大学大学院 |
| 13-3 大学生の時間管理能力に関する研究 (2)
クラスター分析による検討 | ○大嶺 和歌子
國吉 和子 | 琉球大学
沖縄大学 |
| 13-4 高校生における主張性の 4 要件と精神的適応との関連 | 渡部 麻美 | 筑波大学大学院 |

口頭発表 第 2 日 9 月 23 日 (日)

口頭発表 14 身近な人間関係 (1) (36-582) 13:15~14:45

座長 相馬 敏彦

- | | | | |
|------|--|----------------------------|------------------------------|
| 14-1 | 協調なき非協調に効果なし (2) —配偶者からの間接的暴力抑制に及ぼす協調的・非協調的志向性の交互作用効果— | ○相馬 敏彦
具志堅 伸隆
上田 真由美 | 九州女子大学
東亜大学
北九州市立陣原保育所 |
| 14-2 | 大学生とその母親の関係性を規定する要因について—愛着スタイルと関係における感情経験の視点から— | 金政 祐司 | 大阪人間科学大学 |
| 14-3 | 親子間の「絆」における心理的効用についての検討 | ○戸口 愛泰
高木 修 | 相愛大学
関西大学 |
| 14-4 | 高齢者の友人関係が内的適応に果たす機能 (2) | 丹野 宏昭 | 筑波大学 |
| 14-5 | 関係の親密性と社会的拒絶に対する行動傾向—関係相手からの受容予期とコミットメントの媒介効果— | ○宮崎 弦太
池上 知子 | 大阪市立大学大学院
大阪市立大学大学院 |

口頭発表 第 2 日 9 月 23 日 (日)

口頭発表 15 社会的ジレンマ (36-681) 13:15~14:45

座長 安念 保昌

- | | | | |
|------|---|-------------------------|-------------------------------------|
| 15-1 | 囚人のジレンマゲームにおける AQ と報酬の要因 | 安念 保昌 | 愛知みずほ大学 |
| 15-2 | 社会的機会の拡大において寛容性の果たす役割 | ○小船 達己
辻 竜平 | 明治学院大学
明治学院大学 |
| 15-3 | 階層淘汰論に基づく利他的行動に関する実証的検討 | ○羽鳥 剛史
藤井 聡
住永 哲史 | 東京工業大学大学院
東京工業大学大学院
東京工業大学大学院 |
| 15-4 | 説得的コミュニケーションに基づく実務的交通施策：交通社会的ジレンマにおける心理的方略 | ○谷口 綾子
藤井 聡 | 筑波大学
東京工業大学 |
| 15-5 | 囚人のジレンマにおける協力者と非協力者の意思決定プロセス：利得マトリックスへの注視の時系列分析 | ○谷田 林士
山岸 俊男 | 北海道大学大学院
北海道大学大学院 |

口頭発表 第 2 日 9 月 23 日 (日)

口頭発表 16 集団 (1) (36-682) 13:15~14:45

座長 柿本 敏克

- | | | | |
|------|--|--|--|
| 16-1 | 内集団バイアス生起の前提としての人間モデルと信頼 | 柿本 敏克 | 群馬大学 |
| 16-2 | 集団表象と外集団脅威：実在集団を対象とした検討 | ○横田 晋大
結城 雅樹 | 北海道大学大学院
北海道大学大学院 |
| 16-3 | 社会的ジレンマ解決における分配的・手続的公正と外集団への信頼について
—仮想世界ゲームをもちいて— | ○広瀬 幸雄
大友 章司 | 名古屋大学
東北大学 |
| 16-4 | 一般交換システムへの適応としての内集団ひいき：順序つき PD を用いた実験研究 | ○堀田 結孝
山岸 俊男 | 北海道大学大学院
北海道大学大学院 |
| 16-5 | 集団主義の「タイプ」に見る日米差：記憶課題実験による検討 | ○竹村 幸祐
結城 雅樹
William Maddux
大坪 庸介 | 北海道大学大学院
北海道大学大学院
INSEAD
神戸大学 |

口頭発表 第 2 日 9 月 23 日 (日)

口頭発表 17 社会的認知 (2) (36-581) 15:00~16:30

座長 小森 めぐみ

- | | | | |
|------|--|------------------|------------------------|
| 17-1 | 再学習パラダイムを用いた自発的感情推論の検討 | ○小森 めぐみ
村田 光二 | 一橋大学大学院
一橋大学大学院 |
| 17-2 | 人はどのように他者の「性格」に言及するのか | ○荒川 歩
原島 雅之 | 名古屋大学
千葉大学 |
| 17-3 | チョコレートよりも甘い予測：選択の変更可能性が満足感に及ぼす影響 | ○道家 瑠見子
村田 光二 | 一橋大学大学院
一橋大学大学院 |
| 17-4 | 自尊心脅威状況におけるジェンダーに関わる潜在的な偏見・ステレオタイプ化の検討 | ○石井 国雄
沼崎 誠 | 首都大学東京大学院
首都大学東京大学院 |

口頭発表 第 2 日 9 月 23 日 (日)

口頭発表 18 身近な人間関係 (2) (36-582) 15:00~16:30

座長 川名 好裕

- | | |
|---|---|
| 18-1 対人アプローチの男女比較 | ○川名 好裕 川村学園女子大学
齊藤 勇 立正大学
山際 勇一郎 首都大学東京 |
| 18-2 象徴的防衛としての対人領域の過去経験の再構成：
主観的時間的距離に着目した検討 | 脇本 竜太郎 日本学術振興会・東京大学 |
| 18-3 恋愛有能感と異性交際中の感情との関連 | 立脇 洋介 筑波大学 |
| 18-4 青年の恋愛スキルの探索的検討 | 相羽 美幸 筑波大学 |

口頭発表 第 2 日 9 月 23 日 (日)

口頭発表 19 対人コミュニケーション (36-681) 15:00~16:30

座長 藤本 学

- | | | | |
|------|---|------------------|----------------------------|
| 19-1 | 小集団討議における話者の発話行動の独自性:
コミュニケーション参与スタイルと話者役割の要素
との関連性 | 藤本 学 | 久留米大学 |
| 19-2 | 関係性推測のための対人コミュニケーション認知 | ○木村 昌紀
大坊 郁夫 | 日本学術振興会・大阪大学大学院
大阪大学大学院 |
| 19-3 | 自己認知と言語活動性との相互影響関係についての
一考察一社会心理学的コミュニケーション研究の
臨床心理学への応用一 | 安達 知郎 | 東北大学大学院 |
| 19-4 | 動機的要因が懸念的被透視感によって生起する言語
的反応に与える影響の検討 | 太幡 直也 | 筑波大学 |
| 19-5 | ユーモアのセンスが初対面コミュニケーション行動
に及ぼす効果 | ○市橋 暢彦
山田 富美雄 | 大阪人間科学大学大学院
大阪人間科学大学 |

口頭発表 第 2 日 9 月 23 日 (日)

口頭発表 20 集団 (2) (36-682) 15:00~16:30

座長 尾関 美喜

- | | | | |
|------|--|-----------------|-----------------------------------|
| 20-1 | 集団アイデンティティが迷惑の認知に及ぼす効果
(2) — 集団内の人間関係に影響を及ぼす迷惑行為に
着目して — | ○尾関 美喜
吉田 俊和 | 名古屋大学大学院
名古屋大学大学院 |
| 20-2 | 集団作業における行動の個人差と行動的均衡の発生
— 「二八の法則」の心理・生態学的基盤 (2) — | ○石橋 伸恵
亀田 達也 | 北海道大学大学院
北海道大学大学院 |
| 20-3 | 集団内葛藤への対処行動と他メンバーに対する信頼
— 日米大学生の比較から — | ○村山 綾
大坊 郁夫 | 大阪大学大学院
大阪大学大学院 |
| 20-4 | 親、教師、仲間とリーダーシップ志向性の関連
— ジェンダーの観点から — | Htun Tin Tin | Temple University Japan
Campus |
| 20-5 | 連結型リーダーによる二次的ジレンマ問題解決に伴
う独裁者の誕生 | ○松本 良恵
神 信人 | 淑徳大学
淑徳大学 |

口頭発表 第3日 9月24日(月)

口頭発表 21 対人認知・印象形成 (36-581) 9:00~10:30

座長 吉田 綾乃

- | | | | |
|------|--|--|---|
| 21-1 | ワーキングメモリキャパシティの個人差が印象形成におけるスキーマ的判断に及ぼす影響 | 吉田 綾乃 | 東北福祉大学 |
| 21-2 | 高対人不安者の表情認知 | 落合 萌子 | 筑波大学大学院 |
| 21-3 | 笑いの物理的変化量・意味による笑顔の分類 | ○萱場 奈津美
益子 行弘
齋藤 美穂 | 早稲田大学大学院
早稲田大学大学院
早稲田大学 |
| 21-4 | 表情と言語的情報が信頼性判断に及ぼす影響 | ○大藪 博記
森本 裕子
中嶋 智史
小宮 あすか
渡部 幹
吉川 左紀子 | 京都大学大学院
京都大学大学院
京都大学大学院
京都大学大学院
京都大学大学院
京都大学こころの未来研究センター |
| 21-5 | 男性的・女性的終助詞が対人印象や対人魅力に及ぼす影響 | 國仲 瞳 | 筑波大学大学院 |

口頭発表 第3日 9月24日(月)

口頭発表 22 社会問題 (36-582) 9:00~10:30

座長 吉澤 寛之

- | | | |
|--|--|--|
| 22-1 環境問題に対する責任・貢献評価がステークホルダーへの信頼に及ぼす影響
～沖縄県赤土流出問題を事例として～ | ○加藤 潤三
野波 寛
中谷内 一也 | 大阪国際大学
関西学院大学
帝塚山大学 |
| 22-2 人はなぜ道徳的に振る舞えないのか？
—偽善動機づけが道徳的振る舞いに及ぼす影響— | ○上原 俊介
岡田 卓也 | 東北大学大学院
株式会社フロム・エー・ジャパン |
| 22-3 社会環境が社会的行動に及ぼす影響(9) —地域の集合体資源が反社会的行動の生起に及ぼす影響— | ○海上 智昭
吉澤 寛之
原田 知佳
朴 賢晶
中島 誠
尾関 美喜
吉田 俊和 | 名古屋大学
岐阜聖徳学園大学
名古屋大学
名古屋大学
名古屋大学
名古屋大学
名古屋大学 |
| 22-4 社会環境が社会的行動に及ぼす影響(10) —個人の社会化要因を媒介した反社会的行動規定モデルの検証— | ○吉澤 寛之
海上 智昭
原田 知佳
朴 賢晶
中島 誠
尾関 美喜
吉田 俊和 | 岐阜聖徳学園大学
名古屋大学大学院
名古屋大学大学院
名古屋大学大学院
名古屋大学大学院
名古屋大学大学院
名古屋大学大学院 |

口頭発表 第3日 9月24日(月)

口頭発表 23 リスク認知 (36-681) 9:00~10:30

座長 木下 富雄

- | | | | |
|------|---|-----------------|--|
| 23-1 | リスク受容尺度(SRA)の10年間の変化(1)
—受容得点と因子構造は変わったか | ○木下 富雄
吉野 絹子 | 国際高等研究所
神戸学院大学 |
| 23-2 | リスク受容尺度(SRA)の10年間の変化(2) —行動
は保守化したか | ○吉野 絹子
木下 富雄 | 神戸学院大学
国際高等研究所 |
| 23-3 | 不確実性を含む情報の提示がリスク認知や信頼に及
ぼす影響 | ○山崎 瑞紀
吉川 肇子 | (独)科学技術振興機構 社会技術
研究開発センター
慶應義塾大学 |
| 23-4 | 裏切り者についての情報は信頼されやすいか? | ○中西 大輔
大坪 庸介 | 広島修道大学
神戸大学 |
| 23-5 | 遺伝子組換え技術とサイボーグ技術による人体改造
に対する態度 | 田中 豊 | 大阪学院大学 |

口頭発表 第3日 9月24日(月)

口頭発表 24 産業・組織 (36-682) 9:00~10:30

座長 島田 歌

- | | | | |
|------|---|-----------------------|--|
| 24-1 | キャリア研究におけるパラダイムシフト | 島田 歌 | University of Cambridge |
| 24-2 | 日中学生の自尊心尺度の評価と企業選択意識に関する比較分析 | 馮 愛萍 | テクノバイオ(株) |
| 24-3 | Assigning credit to organizational leaders: How Japanese and Americans differ | ○膳場 百合子
Young Maia | (非常勤)明治学院大学
UCLA |
| 24-4 | ハローワークにおける職業相談の研究(2) | ○榎野 潤
松本 純平 | 労働政策研究・研修機構 労働大
学校
労働政策研究・研修機構 労働大
学校 |